

ホタルの幼虫7,800匹 放流しました！



9月24日(土)、第34回「ホタル放流の集い」が行われました。(主催：宮野の川をきれいにする会・会長：倉重真和)宮野小学校ホタル委員会の皆さんが、夏休み中も一生懸命世話をし、今年は7,850匹もの卵が孵化しました！

式典で発表された、宮野小学校5年生の長田さんの作文を紹介します。



宮野小学校ホタル委員会
5年 長田 理央

今年もホタルの幼虫を放流する時期が来ました。私たちホタル委員会は、5月から水槽洗いなどの準備をしてきました。

水槽洗いは、担当の日に水がきれいになるまでいっしょうけんめいがんばりました。

6月8日に親ホタル採りをしました。今年も県立大のお兄さんやお姉さんが手伝ってくれました。そのおかげもあって、今年は、オス50匹、メス50匹、合計100匹を採ることができました。さっそく、ほたる一むの中で交尾をさせ、卵をたくさん生んでくれるよう願っていました。

夏休み前の7月19日に最初のふ化を確認しました。

それから夏休みは、ホタル委員会で当番を決めてお世話をしてきました。幼虫は小さいので見つけるのが大変でした。結果、今年のふ化数は、7,850匹でした。昨年よりも2,000匹も多くふ化しました。今日、この幼虫を放流します。そして、また来年この場所で沢山のホタルが飛んで、光ってくれることを願っています。

2学期には、萩市白水小学校との交流活動を計画しています。白水小学校は、30年前に宮野小学校のホタル飼育を見に来られて始められたそうです。私たち宮野小ホタル委員会も、これまで34年間続いているこの活動をしっかり続けていきたいと思います。



ホタルの乱舞が見られるよう、水質保全に取り組みましょう！